

寿 企 画 号  
令和6年10月18日

子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会 様

寿都町長 片岡 春 雄



#### 公開質問状に対する回答について

令和6年10月16日付で貴会から提出のありました公開質問状に関し、下記のとおり回答いたします。

#### 記

##### 質問①-1に関して

寿都町地域振興アドバイザーは、石川和男氏が「国の長年に亘って解決が見いだせない課題に対し、文献調査に応募することで一石を投じた気概に感銘を受けた」と、自ら寿都町の振興発展を支援したいという申し出があり、それを受けて町長が委嘱し現在に至っております。

##### 質問①-2に関して

これまで石川氏より地域振興に関するアドバイスに関しては、寿都町にとって有益と考えられる施策や産業、事例等のご紹介等をいただく形でご支援をいただきました。なお、いずれも無報酬で行っていただいております。

##### 質問②に関して

石川氏は経済産業省に入省後、エネルギーや産業施策など国の重要施策に携わり、退官後も内閣府・規制改革会議専門委員を担うなど日本の経済や社会情勢に精通された人物であると認識しております。しかしながら、国や世界といった広い視点でキャリアを積んでこられた方であっても、地域の実情の細部までを把握していると言い難いことは承知しており、いただいた助言等を地域の実情に適した形としたうえで町政に反映することは町の役割であると認識しております。石川氏には引き続き町にとって有益なご助言を頂けるものとして地域振興アドバイザーを担っていただきたいと考えております。

なお、質問中に「シンポジウムの司会進行などを担わせるようなことがあった場合には…」との表現があり、どのような情報をもってそのようなご指摘に至ったかは定かではありませんが、現時点でシンポジウムの開催日時、ご参加いただけるパネリストやファシリテータの人選など決定した事項はありません。高レベル放射性廃棄物最終処分事業について町民の皆様に興味・関心を寄せていただき、様々な観点からご意見を聞いていただく機会として開催を検討中であり、開催に際しては多くの皆様にご来場いただきたく、町から広報誌等を通じでお知らせをいたします。

以上